

松 風

■発行所 流通経済大学校友会 tel 0297-64-0001
 ■〒301-8555 茨城県龍ヶ崎市平畑 120
 ■発行人 石川 元亨

平成 22年度 総括幹事会開催

第 4 回



2月19日に新松戸キャンパス特別会議室にて、本年度最後となる第4回幹事会が開催された。本部役員および全国より地域支部長（幹事）ら26名が出席しました。

まず、石川会長より挨拶とともに、昨年韓国支部設立総会に出席された折の報告がありました。非常に盛大で楽しい会合とのことでした。（詳細は別サイトでご覧ください）次に池澤事務局長の司会で議事を進めました。今回は主に本年度の事業の総括と来年度の事業計画（案）の検討でした。

審議事項

1. 平成22年度収支決算（案）について
2. 平成23年度収支予算（案）について
3. 新年度事業計画について
 - 組織活性化対策
 - ・山形県、山梨県、北陸支部（福井県、石川県）の未組織地区への働きかけ
 - ・助成金の活用
 - 例年行事関係
 - ・卒業年次毎の会員総会の開催（満60歳到達同期会）
 - ・ホームカミングデー協賛事業
 - ・卒業・新入会員記念品贈呈
 - ・現役学生活動への援助
 - ・大学祭への援助
4. 校友会幹事会を新年度より年3回開催に変更する件——決定（従来 年4回）
5. ブロック、支部の校友会旗を作成する件——決定（会合時に掲げ存在と団結を高揚、アピールする）
6. 支部設立、運営に関する規約改正及び助成運用改正等について
7. 人事 新任幹事

群馬支部	和田幹事
東京支部	岡本幹事
静岡支部	田中幹事

平成22年度活動報告

- 4月10日 第1回幹事会開催
- 7月10日 第2回幹事会開催
- 7月17日 静岡支部設立 総会開催
- 7月17日 栃木支部 総会開催
- 7月18日 中国東支部 総会開催
- 7月24日 中国西支部 総会開催
- 8月 7日 青森支部設立 総会開催
- 8月28日 北海道支部 総会開催
- 10月9日 南九州支部、鹿児島支部 総会開催
- 10月16日 第3回幹事会開催
- 10月30日 秋田支部 総会開催
- 11月13日 近畿支部 総会開催
- 11月20日 茨城支部 総会開催
- 11月21日 群馬支部設立 総会開催
- 11月23日 北九州支部 総会開催
- 11月27日 韓国支部 設立総会開催
- 平成23年
- 2月19日 第4回幹事会開催
- 3月12日 流経大観光クラブ総会開催

平成22年度 第3回幹事会開催

10月16日

- 支部活性化について
 - ・各支部の現状と総会開催内容について報告（支部長）
 - ・本校入学者の出身地域別分布（旧、新）の変化による今後の地域支部会員数の見込みについて
- ホームカミングデーについて
校友会として協賛する
- 広報活動の充実について
- 幹事人事

平成22年度決算・23年度予算（案）

項目 (単位千円)	22年度実績		23年度予算		
	内訳	計	内訳	計	
前年度繰越		192791		197732	
収入の部	会費収入	11300		12190	
	利息収入	755		726	
	小計		12055	12916	
収入計		204846		210648	
支出の部	運営活動費	行事費	2021		2129
		会議費	3001		4061
		広報費	1459		1702
		事務費	23		190
		雑費	28		63
		小計		6534	8145
	援助費	大学祭援助費	580		660
		諸行事援助費	0		1000
		備品援助	0		0
		小計		580	1660
支出計		7114		9805	
翌年度繰越		197732		200843	

編集局だより

当会報を編集している時、大震災が発生しました。未だその被害の全容は正確には判りません。想像を絶するものであることは確かです。人的被害については声を失うばかりです。本会会員の中にもその被害を受けられた方がいらしゃるのではないかと心配です。判り次第お知らせしたいと思います。

さて、校友会本部による全国的組織作りも、活動経過にあるごとく、ほぼ整いつつある所ようです。次はそれをベースにいかに交流を拡げるかです。各支部に属されている会員様にはぜひとも支部総会等に出席され交流を深められるとともに、その運営、活動方法についても意見を交わされ交流がより充実したものとなることを期待します

校 友 の 広 場

青森支部総会

8月7日（土）青森市 アップルホテルにて



支部設立総会が総勢5名の参加者で午前11時から開催されました。当日の青森市内は「ねぶた祭り」の最終日であり、祭りの熱気に加え、37度Cという今夏の最高気温の中で、粛々と議事進行がおこなわれ、11期生の秋山洪志さんが初代支部長に選出されました。少人数の設立総会となりましたが、今回はより多くの参加人員を確保して盛り上げて生きたいと秋山支部長から挨拶をいただき、それぞれが自己紹介をしながら親睦を深めた1日となったということです。

北海道支部総会

8月28日（土）札幌市 札幌東急インにて



出席者14名のもと、午後6時から開催されました。函館や松前そして釧路など遠方から参加され、旧知を温めあいました。函館から参加された稲田さんは母校のある龍ヶ崎を離れ41年間北海道でお仕事をされており、今ではすっかり「どさん子」になっていました。林支部長最初の総会でありましたが、皆さんの結束もかたく、すすき野で行った二次会には全員参加され大いに盛り上がり、再会を約束して閉会しました。

社会福祉会支部総会

9月26日（日）本学 龍ヶ崎キャンパスにて

参加人数は11人と少なめでしたが、社会学部の1期生から昨年度卒業したという方まで幅広い年齢層のメンバーが参加し、昨年度事業報告・決算、今年度事業計画・予算の審議が行われました。その中では、「流通経済大学に恩返しをしたい」、「参加することで視野が広がるので今後も太くなくともずっと続いていけ

る会を目指していきたい」、「原点にかえることができる会に」など活発な意見が出されました。

校友会事務局として参加いただいた赤石さんからは「重たくなならないよう、来てよかったと思える会を目指しては」とアドバイスいただくなど、とても有意義な総会となりました。

総会終了後は、佐貫駅前の居酒屋で懇親会も行われ、さらに議論が活発になされ、交流を深めることが出来ました。

秋田支部総会

10月30日（土）秋田市 迎賓館駅前店にて



11名の校友が集いました。なんと、前回開催から14年ぶりの開催であり、当時参加した校友の方には感慨深げな様子が見て取れました。また、40期の方1名、30期の方2名の参加があり、今後の発展が楽しみです。

さて、今回は支部長の交代がありました。支部長は我妻 実氏（1期）で、満場一致で承認されました。

懇親会では日本酒（新政）を中心に、秋田県人のいわば浴びるほどに酒杯を重ねるのにはびっくりしました。締めの後、校歌を歌う校友の皆さんの姿が青春そのものでありました。

群馬支部総会

11月21日（日）前橋市アニバーサリーコート ラシーネ（旧厚生年金基金会館）にて



当初12名の出席予約があり、直前にて急遽2名がキャンセルになりましたが当日新たに2名が来られ予定通りになりました。

設立総会では、支部長に1期の植木幹雄氏、副支部長に3期の金子貞美氏、幹事長に5期の平山佳由氏、会計監査に3期の橋本悦雄氏と16期の関口芳郎氏、会計に17期の八木紀夫氏、書記に21期の品川淳氏、そしてその他出席者全員が幹事に就任いたしました。

『小さく生まれましたが、大きく育てて行こう』という合言葉の下、勇躍次の再会を約し敬会致しました。

なお、今回の返信葉書の特色ですが、今回は必ず出席すると書いた方が非常に多かったと言うことを付記しておきます。

近畿支部総会

11月13日（土）大阪市 大阪弥生会館にて

総会は、16:00～17:30に会館 3F 高砂の間にて、藤浴正人氏（支部長 1期）をはじめ佐澤徹氏（1期）吉村清久氏（1期）森田好昭氏（2期）、皿谷善一氏（3期）井坂一仁氏（4期）葛葛原博氏（5期）村木岳彦氏（13期）藤岡隆氏（19期）春名匡氏（25期）森川源太氏（29期）久下淳氏（30期）石津弘徹（30期）及び本部の支部活性化副委員長の黒田義一氏（事務局 8期）の計14名の出席を得て開催されました。

総会では次の項目について議論されました。議題1、藤浴支部長経過報告 議題2自己紹介、議題3、大学及び校友会の近況報告（黒田氏より）なお、リーマンショック以降の学生の就職率が低迷していることや、少子化に伴う学生確保が重要課題となっていることから、今後、日本通運をはじめとする課関係団体や校友（卒業生）の一層の協力をお願いしたいとの報告がなされた。議題4、近畿支部の今後について 藤浴支部長より、近況報告がなされ近畿支部には274名の会員が在籍していることや、今後の方針として人数の少ない京都と滋賀のように、近隣地区ごとに合同で会合を持ち、将来的には、府県ごとに下部組織を置くように展開したいとの話があった。また、なかなか夕方開催の総会に参加できない会員が多く、特に、主婦となっている女子卒業生の参加を増やすため、次回は、日曜（大安以外）の昼からの開催を検討したいという提案がなされ、承認された。議題5. その他 総会・懇親会の参加者が少ないのであれば、総会に佐伯学園長の講演を入れるなどの工夫が必要ではないかとの提案があった。

その後、懇親会会場（1F）に移動し、親睦を深めるとともに、最後に校歌を斉唱し、盛会のうちに終了した。

終了後、藤浴支部長のご配慮により、北新地において二次会が設定され、うち9名が参加し、カラオケで大いに盛り上がったとのこと。

校 友 の 広 場

茨城支部総会

11月20日(土) 本学 龍ヶ崎キャンパスにて

大学4号館411号室において大嶺光正支部長以下113名の校友が集い、飯田克行氏の司会で総会が開催されました。

来賓の小池田富男学長から、大学の現況についてご挨拶を賜りました。また学生による課外活動としてチアリーディング部とライブセービング部の演技を旧体育館において見学しました。演技見学のあと沢村記念館1階学生食堂において「親睦の集い」が山本哲朗氏の司会の下に進行しました。来賓として濱田名誉教授からご挨拶を賜り、乾杯のあと歓談がなされました。それぞれ旧交を温めたことはいまでもありませんが、イベントとして「学生時代にかえって」という愛唱歌集に沿って、山田善政氏が生伴奏をつけたため歌声喫茶には代わりするなど皆さん青春時代にもどった感がありました。最後にこれら運動部に先導していただき声高らかに校歌斉唱を全員で行いフィナーレとなりました。

などの思いが縷々述べられたとのことです。韓国の留学生の累計が265名を数えています。この記念すべき第一回韓国支部総会を契機に、今後より多くの方R K U韓国留学生校友諸氏に輪を広げて発展していけることを心から祈念するものです。

うれしい便りが届きました。
学生時代から続けておられる、
ゼミOB会からの報告です。

鎌田ゼミOB会



プライベートな校友交流の集まりである、「鎌田ゼミOB会」をご紹介しますとともに、昨年の活動のご報告をいたします。

鎌田一義先生は1971年、大学院卒業と同時に流経大に赴任され国際経済を専攻するゼミを担当された。私は鎌田ゼミ一回生として二年間お世話になりました。先生は今でも教壇に立っておられます。

当時、ゼミ講義に始まりゼミ発表、ゼミコンパ、ゼミ旅行そして鎌田研究室での自由な会話、これらあらゆる場面、多くの時間、で我々は先生と接し、先生の我々に向き合う真摯な姿勢に大きな刺激をうけた。これが切磋琢磨する雰囲気醸成し、我々

の力になった。

鎌田先生の薫陶により、曲がりなりにも納得できる学生生活を送ることができ、また公私に亘り人格形成の基礎を造って戴いたといえる。

この「鎌田ゼミOB会」は、先生を慕う者がつくばね祭に合わせ、年一回参集し先生・旧友と親睦を暖める場とし、開催できなかった年も数回あるものの、三十数年間継続してきている。通常は十名前後の参加者であるが、平成六年には、二十三期の在校生であった片平君の纏めで、OBと三・四年の在校生合わせて多数の出席の中、初めての総会を開催した。併せて機関紙「鎌田通信」も刊行できた。

昨年の活動は、ゼミ一回生が還暦を迎えた節目でもあり、初めての泊旅行を計画した。

実施時期は 平成二十二年十一月中旬。

宿泊先は、日本三大名瀑の一つ袋田の滝がある茨城県奥久慈、袋田温泉。

メンバーは 鎌田先生・吉川氏(ゼミ一回生、五期生)・小坏氏(同左)・菊池(同左)・丹尾氏(七回生、十一期生)・片平氏(十九回生、二十期生)・岡部氏(同左)の七名。

懇親会は、地元の食材に舌鼓を打ちながら、各自の話題に花が咲いた。先生のコメントもしっかり盛り込まれた。先生からのウイスキーの差し入れで、ますます話に熱が入り消灯は十二時過ぎ。懇親会では、普段では気が付かない新しい発見がいつもある。これが私にとって大切なお土産だ。翌日は、袋田の滝見学、りんご狩り、紅葉で有名なお寺参拝と楽しい時を過ごした。

今後も、「鎌田ゼミOB会」をいままでも通り大切に続けていきたいと切に思っている。会が長く継続できているのは、先生も会を愉しんでおられ、暖かく見守って下さるからではないかと思う。私も還暦で時間ができた。次回OB会の開催を仲間と楽しく企画しようと思っています。

五期生 菊地 和博 記

韓国支部総会

11月28日(日) 韓国 ソウル市にて

ソウルにおいてR K U校友会韓国支部設立総会が開催されました。台湾支部に引き続く校友会支部の海外進出となりました。日本から石川会長、池澤事務局長、赤石総務部長、宮本副運営部長の4名が参加しました。当日は韓国留学生校友会員25名が出席の予定のところ、最終的には18名の参加での開催となりました。

総会では、韓国支部会長にキム・ボンス氏(26期)、副会長にパク・マイル氏(27期)とユン・ソンハン氏(30期)がそれぞれ選出され、日本からの参加者4名は名誉顧問として協力することになりました。

懇親会での出席者の声として「日本で学べたことを誇りに感じている」「皆さんにお会いできたのがうれしい」「卒業してから10年以上経つので、母校の変遷やその他の情報が得られてよかった」「今後毎年韓国支部総会を開催し、交流していきたい」

記事募集 会員同士の交流の情報をお寄せください。飲み会、記念パーティー、ゴルフ会、クラブ OB会など。また、学生時代の思い出などでも結構です。はがき、手紙、メールなどでまずお知らせください。必要ならこちらからご連絡致します。

校友会事務局 会報係まで